

東京都漁場環境予測システム
「拓海」
システムマニュアル

目次

1 拓海について.....	2
1-1 サービス内容.....	2
1-2 データ項目詳細	2
2 サインイン手順	3
2-1 サイト URL.....	3
2-2 アカウント情報の入力	3
3 操作方法	4
3-1 全体機能.....	4
3-2 海況図〈マップ〉画面操作方法	5
3-3 ピンポイント〈グラフ〉画面操作方法	7
3-4 ピンポイント〈表〉画面操作方法	9

1 拓海について

東京都の指定海域対象のスマートフォン向け漁場環境予測システムです。スマートフォンの Web ブラウザでご利用いただけます。

1-1 サービス内容

◆ 海況図〈マップ〉

- 表示範囲：東京都周辺海域（北緯 26 度～36 度、東経 137.5 度～142.5 度）
- データ表示間隔：3 時間ごと

◆ ピンポイント〈グラフ・表〉

- 表示地点
 - 地点アイコン：「八丈島南西沖」北緯 32 度 52 分、東経 139 度 24 分
「八丈島南西 50 マイル」北緯 32 度 30 分、東経 138 度 55 分
「三本西」北緯 33 度 58.5 分、東経 139 度 11.38 分
「小笠原メカジキ漁場」北緯 27 度 0 分、東経 142 度 0 分
 - 任意点範囲：北緯 30 度から 35 度、東経 138 度 30 分から 140 度 30 分の範囲
北緯 26 度から 28 度 30 分、東経 141 度 30 分から 142 度 30 分の範囲
- データ表示間隔
 - 地点アイコン：1 時間ごと
 - 任意点：3 時間ごと

1-2 データ項目詳細

データ項目	表示可能期間	深度	データ参照元（解像度）
風・雨	現在時刻を起点に 72 時間前から 72 時間先	—	MSM（36 時間先まで） （緯度 0.05 度×経度 0.0625 度） GSM（39 時間先以降） （緯度 0.1 度×経度 0.125 度）
波	現在時刻を起点に 72 時間前から 72 時間先	—	CWM （緯度 0.05 度×経度 0.05 度）
海面水温	現在時刻を起点に 72 時間前から最新	表層	雲除去ひまわり海面水温 （緯度 0.02 度×経度 0.02 度）
潮流	現在時刻を起点に 72 時間前から 72 時間先	表層、50m、100m、 200m、400m、600m	ICTKSMW （緯度 0.016667 度×経度 0.016667 度）
水温	現在時刻を起点に 72 時間前から 72 時間先	表層、50m、100m、 200m、400m、600m	ICTKSMW （緯度 0.016667 度×経度 0.016667 度）

2 サインイン手順

2-1 サイト URL

下記 URL を Web ブラウザのアドレスバーに入力してください。

<https://takumi.metro.tokyo.lg.jp/>

2-2 アカウント情報の入力

下図のサインイン画面にて、事前に発行された ID と登録キー（password）を入力し、登録ボタンを押してください。アカウント情報が認証されると、サービスへ移動いたします。



拓海 Tokyo fishing ground
condition forecast system

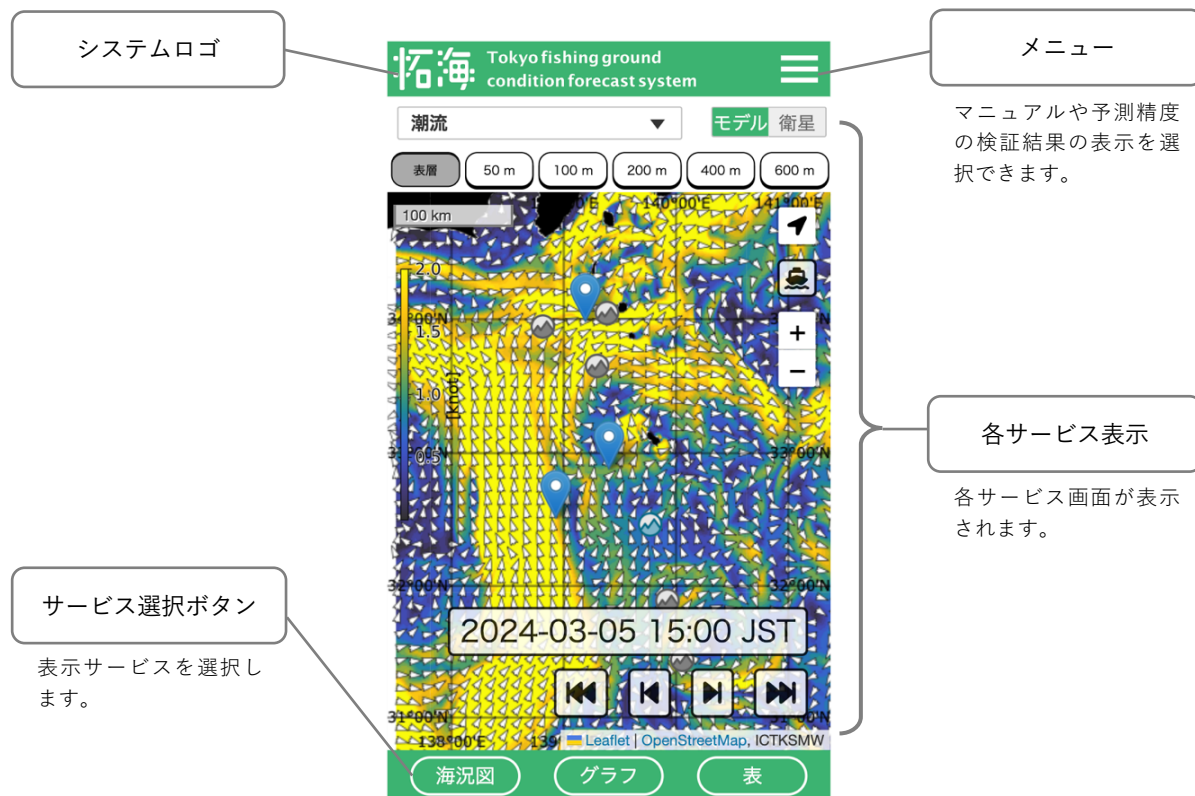
ID

登録キー

登録

3 操作方法

3-1 全体機能



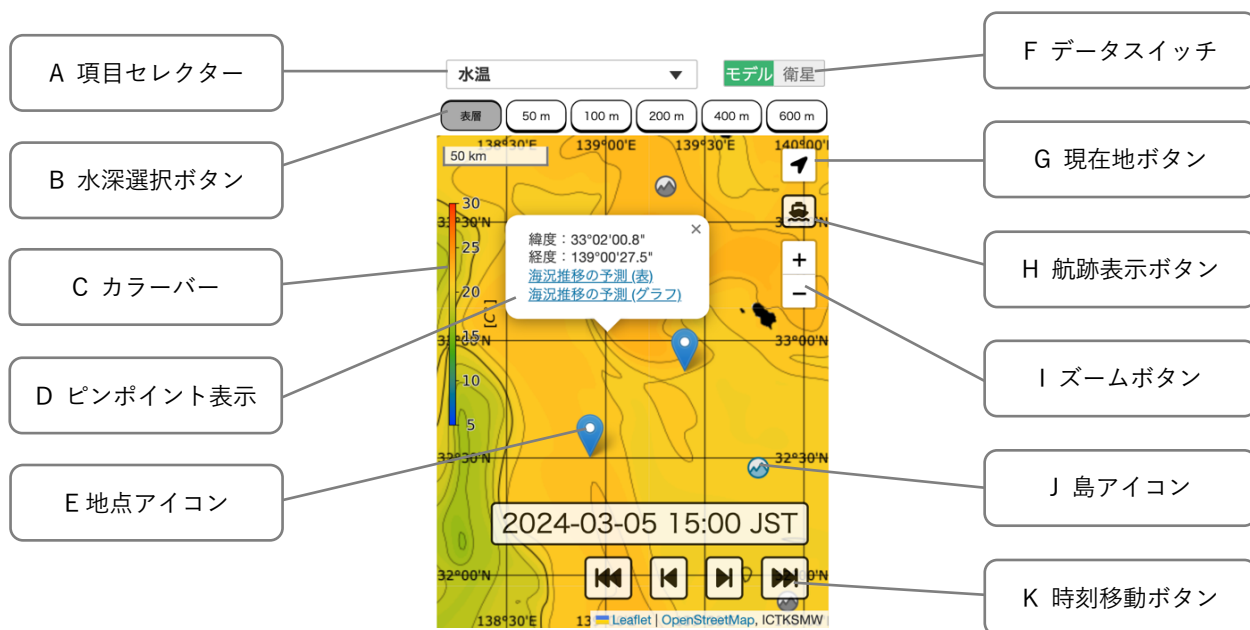
◆ オフライン機能

インターネット回線に接続された状態で、一度 Web ブラウザでシステムを表示していただくと自動で端末にデータがキャッシュ（一時的に端末に保存）され、インターネット回線の接続されていない場所にも移動しても、キャッシュクリア等の操作をしない限り、保存されたデータをシステムで表示することができます。自動キャッシュされるデータは以下の通りになります。

- 海況図〈マップ〉の直近1日先までの広域表示データ（水温・潮流は表層のみ）
- ピンポイント〈グラフ・表〉の全データ

オフライン時にシステムをお使いいただくにはご使用中のブラウザを閉じずにそのまま継続して操作していただくか、再度 (<https://takumi.metro.tokyo.lg.jp/>) をブラウザのアドレスバーにご入力してシステムを表示してください。

3-2 海況図〈マップ〉画面操作方法



A 項目セレクトター

「風・雨」「波」「水温」「潮流」の中から表示するデータ項目を選択します。

B 水深選択ボタン

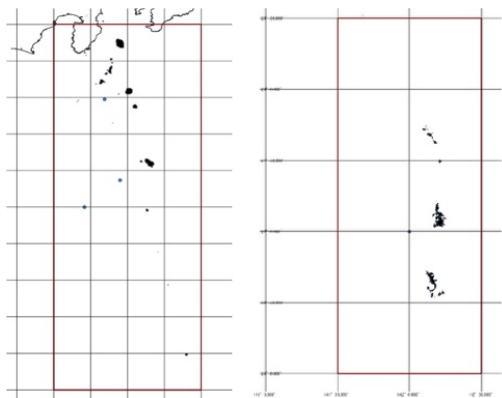
表示するデータの水深を選択します。

C カラーバー

データ凡例のカラースケールが表示されます。

D ピンポイント表示

対象海域の任意の点を長押し（PC の場合は右クリック）でポップアップが表示され、その地点の緯度経度と、表およびグラフそれぞれの時系列データページへのリンクが表示されます。

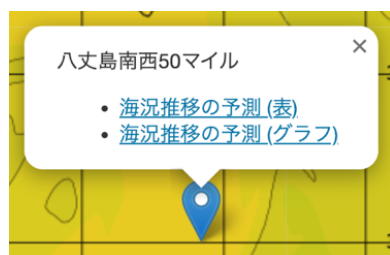


対象海域は以下の通りです。

- 北緯 30 度から 35 度、
東経 138 度 30 分から 140 度 30 分の範囲（左図）
- 北緯 26 度から 28 度 30 分、
東経 141 度 30 分から 142 度 30 分の範囲（右図）

対象海域の以外では、ポップアップで緯度経度のみ表示されます。

E 地点アイコン



アイコンの地点はピンポイントデータの表示が可能になります。アイコンをタップするとポップアップが表示され、表およびグラフそれぞれの時系列データページへのリンクが表示されます。

F データスイッチ

表示中のデータの参照元となるデータを確認できます。トグルスイッチになっており、「衛星」に切り替えると衛星データを元にした海面水温（画像処理を利用した雲域補完データ）が表示されます。

G 現在地ボタン



ボタンを有効（左図）にすることで現在地が表示（右図）されます。

現在地表示機能を利用するにはブラウザで位置情報の利用を許可する必要があります。

* 位置情報の利用の権限は、端末の設定から変更できます。

H 航跡表示ボタン



ボタンを有効（左図）にすると画面 ON 状態のあいだの航跡を表示します。

航跡が表示されない場合は、一度ボタンを切り（右図）、再度有効にすると表示されることがあります。航跡の表示期間は 1 日間分です。

I ズームボタン

マップを拡大縮小します。お使いのブラウザによってピンチアウトやダブルクリックなどで拡大縮小も可能です。

J 島・漁場アイコン

マップで確認しづらい小さな島や岩礁群、漁場や特徴的な海底地形の地点をアイコンで示します。アイコンをタップするとポップアップにて島名等が表示されます。

漁場・海底地形アイコンはマップを拡大すると表示されます。

青色の青ヶ島アイコンをタップすると島名と青ヶ島気象観測地図へのリンクが表示されます。

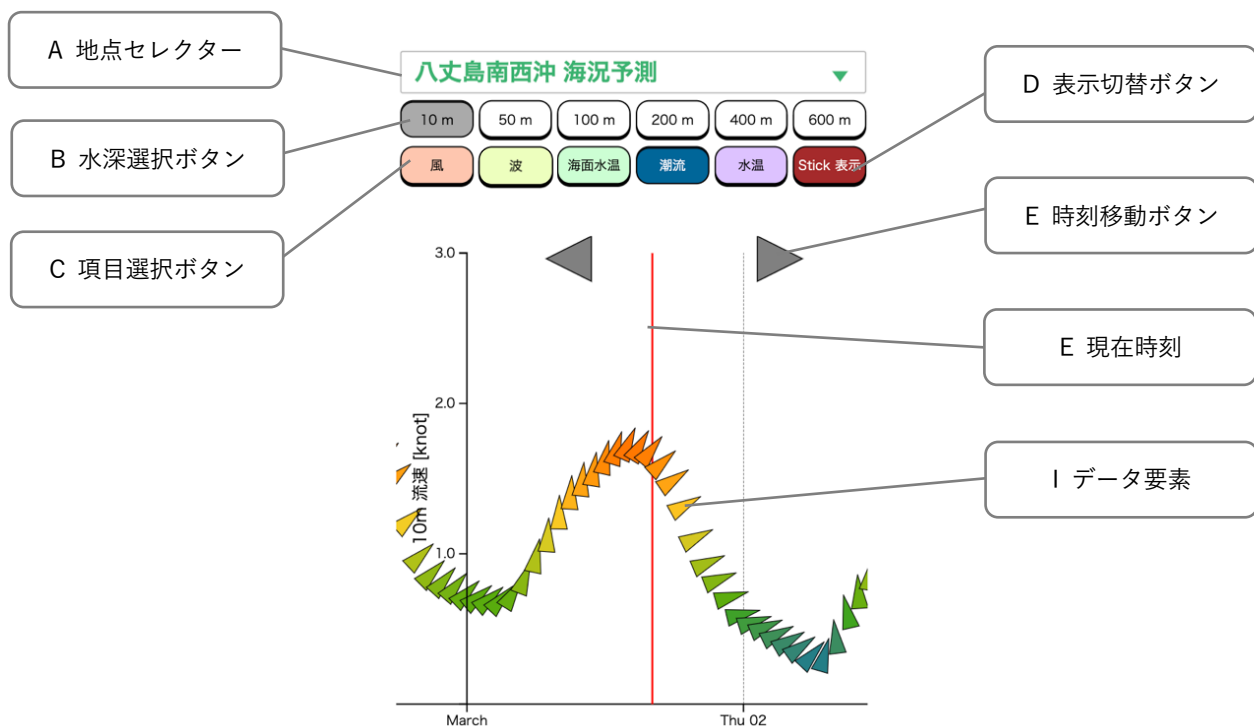
K 時刻移動ボタン

表示データの時刻を移動します。



1 日前 3 時間前 3 時間後 1 日後

3-3 ピンポイント〈グラフ〉画面操作方法



A 地点エレクター

データを表示する地点を選択します。

(任意地点のピンポイント表示では、ここに緯度経度が表示されます。)

B 水深選択ボタン

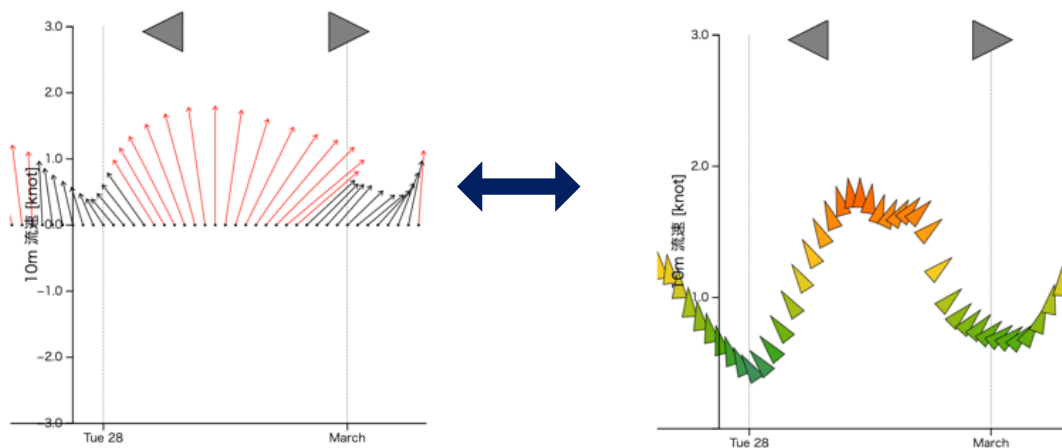
表示するデータの水深を選択します。

C 項目選択ボタン

表示するデータ項目を選択します。

D 表示切替ボタン

「風」「波」「潮流」データを表示中に、Stick 表示と Glyph 表示を切り替えます。



Stick 表示時、「風」は風速 8knot 以上、「波」は波高 3m 以上、「潮流」は 1knot 以上のとき赤色矢印になります。

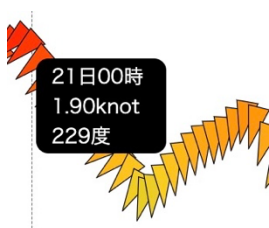
E 時刻移動ボタン

データ表示範囲を移動します。

F 現在時刻

赤の縦線は現在時刻を表します。

G データ要素



Glyph 表示のデータ要素をクリックすると当該データの詳細な数字が表示されます。

3-4 ピンポイント〈表〉画面操作方法

A 地点セレクトター

B 水深選択ボタン

C 時刻スクロール

D 現在時刻

E 現在時刻ボタン

八丈島南西沖 海況予測							
		表層	50m	100m	200m	400m	600m
日時	時	09時	10時	11時	19日 12時	13時	14時
風	m/s	18.1	17.8	18.1	18.5	18.5	18.3
波	m	4.3	4.6	4.9	5.1	5.1	5.1
海面水温	℃	--	--	--	--	--	--
表層	kt	0.34	0.20	0.02	0.23	0.48	0.69
	℃	19.4	19.4	19.3	19.3	19.3	19.2
100m	kt	0.82	0.70	0.52	0.28	0.11	0.28
	℃	19.2	19.2	19.2	19.2	19.2	19.1

A 地点エレクトター

データを表示する地点を選択します。

(任意地点のピンポイント表示では、ここに緯度経度が表示されます。)

B 水深選択ボタン

表示するデータの水深を選択します。選択した水深のデータの行が追加されます。選択した状態でボタンを押すと、選択が解除され、行が削除されます。

C 時刻スクロール

表の横方向スクロールで前の時刻と先の時刻のデータを表示できます。

D 現在時刻

水色背景の列は現在時刻を表します。

E 時刻移動ボタン

現在時刻の列に移動します。